

2016年5月31日

『平成27事業年度 マザック高度生産システム研究助成者発表 及びマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式』を開催

公益財団法人 マザック財団（理事長：棚橋祐治、住所：愛知県丹羽郡大口町竹田1-131、TEL：0587-95-6874）は、1981年の設立以来、高度生産システムに係わる生産技術・機械要素・情報通信技術・制御技術・工作機械・ロボットなど周辺機器の新技术開発に取り組む国内外の個人、大学及び研究機関などに対する研究助成や援助活動を継続しています。このたび、平成27事業年度の研究助成、優秀論文表彰ならびに国際会議援助の対象として計41件を選定し、5月31日にヤマザキマザック美濃加茂製作所ワールドテクノロジーセンタにおいて発表と表彰式を行いました。

平成27事業年度は、平成27年9月1日から11月末の募集期間に、大学や研究機関などから多岐にわたる研究助成の申請や論文応募があり、審査を経てマザック高度生産システム研究助成23件、マザック高度生産システム優秀論文表彰15件、国際会議援助3件の計41件を選定しました。今回の研究助成ならびに優秀論文の内容は、いずれも工作機械の5軸・多軸加工による性能向上や自動化・無人化などにより加工精度や生産性を大幅に向上させる技術です。今年の研究助成の応募にはAM(アディティブマニュファクチャリング)に関連する研究が増えており、日本の大学や研究機関での、新技术を具現化して今後の生産・加工に生かす研究が期待されます。また、助成対象者は初回の方が半数近くをしめており、今後も幅広い研究者への支援を重視していきます。

お問合せ先：ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください